



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 イノテック株式会社

コード番号 9880 URL <http://www.innotech.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 澄田 誠

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長兼財務経理部長

(氏名) 棚橋 祥紀

TEL 045-474-9000

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	19,585	△0.1	1,326	16.3	1,425	25.1	661	26.7
23年3月期第3四半期	19,612	11.9	1,140	225.9	1,140	161.2	521	697.9

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 630百万円 (46.5%) 23年3月期第3四半期 430百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	37.79	37.33
23年3月期第3四半期	29.84	29.57

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	27,751	22,057	78.3
23年3月期	27,501	21,693	77.7

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 21,734百万円 23年3月期 21,368百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.00	—	8.00	12.00
24年3月期	—	7.00	—		
24年3月期(予想)				7.00	14.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,500	2.4	1,700	16.8	1,800	17.5	950	23.4	54.29

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	18,218,901 株	23年3月期	23,218,901 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	715,195 株	23年3月期	5,728,795 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	17,499,552 株	23年3月期3Q	17,490,158 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しています。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、[添付資料]P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 追加情報 .....	7
(5) セグメント情報等 .....	7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(7) 重要な後発事象 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の復興需要により底堅さはみられたものの、欧州債務危機の影響による世界景気の減速や歴史的な円高に加え、タイにおける洪水の影響もあって、全体として回復の足取りは重いまま推移しました。

当社グループが参画いたします先端エレクトロニクス業界におきましては、地上デジタル放送への移行に伴う薄型テレビや録画再生機の特需終了等により、デジタル家電の需要は低迷しました。また、タイ洪水の影響によるサプライチェーンの混乱のため、ハードディスクドライブをはじめ幅広い分野の生産が停滞しました。一方、スマートフォンやタブレット型端末（多機能携帯端末）向けに、NANDフラッシュメモリの需要は堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループにおける当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高195億85百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益13億26百万円（同16.3%増）、経常利益14億25百万円（同25.1%増）、四半期純利益6億61百万円（同26.7%増）となりました。

報告セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### 〔半導体設計事業〕

半導体設計事業は、当社グループが蓄積してまいりました高度なエンジニアリング力を効果的に活用して高付加価値製商品及びサービスの提供に努め、仕入先との更なるパートナーシップを強化すると共に既存顧客との関係強化・新規顧客開拓に加え、新製品の開発に注力するなど積極的な営業活動を展開してまいりました。主力商品の半導体設計用（EDA）ソフトウェアは、長期契約の更新が順調に進んだことなどにより、概ね堅調に推移しました。自社製テストシステムは、スマートフォンやタブレット型端末等の旺盛な需要を背景に、国内及び海外半導体メーカーにおけるフラッシュメモリ生産が好調に推移し、大幅伸長となりました。一方、三栄ハイテックス株式会社のLSI設計受託ビジネスは、震災の影響による顧客の開発プロジェクトの見直しや先送りなどにより前年実績に及びませんでした。

その結果、当事業の売上高は102億19百万円（同31.9%増）、セグメント利益は15億97百万円（同71.6%増）となりました。

#### 〔電子部品事業〕

電子部品事業は、デジタル家電やOA・FA市場の既存顧客を中心に当社のエンジニアリング力を活かし、高付加価値製商品及びサービスの提供、新規アプリケーションの開拓に努めてまいりました。ハードディスク部門は、震災及びタイの洪水の影響による供給不足及び顧客の生産調整のため全体的に落込みました。デバイス部門は、デジタルテレビの需要減に伴い、HDMIチップの売上が減少しました。アイティアアクセス株式会社の組み込みソフトウェア及びデジタル家電向け開発支援ビジネスは、一部開発の遅れなどにより売上は減少しました。

その結果、当事業の売上高は93億65百万円（同21.1%減）、セグメント利益は26百万円（同93.9%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、277億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億49百万円増加しております。これは主に、商品及び製品が減少したものの現金及び預金や受取手形及び売掛金が増加したことなどによるものであります。

一方、負債は56億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億14百万円減少しております。これは主に、買掛金が増加したものの借入金が増加したことなどによるものであります。

純資産は220億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億63百万円増加しております。これは主に、四半期純利益を計上したためであります。この結果、自己資本比率は78.3%となり、前連結会計年度末に比べ0.6ポイント増加しております。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年8月8日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,250,942	4,104,456
受取手形及び売掛金	7,390,113	7,851,432
商品及び製品	2,509,512	1,336,984
その他	2,184,934	2,606,490
貸倒引当金	△1,530	△564
流動資産合計	15,333,971	15,898,800
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,910,416	7,687,770
減価償却累計額	△3,405,727	△3,411,474
建物及び構築物(純額)	4,504,689	4,276,295
土地	5,672,632	5,672,632
その他	686,349	740,548
減価償却累計額	△455,796	△481,940
その他(純額)	230,552	258,608
有形固定資産合計	10,407,874	10,207,535
無形固定資産		
のれん	262,934	129,135
その他	82,257	149,201
無形固定資産合計	345,192	278,336
投資その他の資産		
投資有価証券	667,159	637,269
その他	846,583	736,561
貸倒引当金	△99,023	△7,310
投資その他の資産合計	1,414,719	1,366,521
固定資産合計	12,167,785	11,852,394
資産合計	27,501,757	27,751,194

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,041,292	2,761,166
短期借入金	1,000,000	—
未払法人税等	418,514	645,905
賞与引当金	—	171,587
役員賞与引当金	—	20,600
その他	1,819,604	1,562,877
流動負債合計	5,279,411	5,162,136
固定負債		
退職給付引当金	310,187	304,898
役員退職慰労引当金	35,430	34,394
その他	183,215	192,757
固定負債合計	528,832	532,050
負債合計	5,808,244	5,694,186
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,517,159	10,517,159
資本剰余金	9,295,713	7,320,858
利益剰余金	3,912,721	4,311,510
自己株式	△2,266,303	△282,930
株主資本合計	21,459,291	21,866,598
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,062	△17,936
繰延ヘッジ損益	△10,560	3,138
為替換算調整勘定	△93,537	△117,466
その他の包括利益累計額合計	△91,034	△132,264
新株予約権	95,760	131,626
少数株主持分	229,495	191,046
純資産合計	21,693,513	22,057,007
負債純資産合計	27,501,757	27,751,194

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	19,612,876	19,585,082
売上原価	15,103,352	14,636,706
売上総利益	4,509,524	4,948,376
販売費及び一般管理費	3,369,419	3,622,168
営業利益	1,140,104	1,326,207
営業外収益		
不動産賃貸料	199,593	317,610
その他	35,209	42,216
営業外収益合計	234,803	359,827
営業外費用		
不動産賃貸費用	219,865	246,560
その他	15,012	13,699
営業外費用合計	234,878	260,259
経常利益	1,140,029	1,425,775
特別利益		
貸倒引当金戻入額	18,389	—
退職給付制度終了益	—	49,359
その他	4,256	1,796
特別利益合計	22,645	51,156
特別損失		
減損損失	—	114,753
投資有価証券評価損	55,361	—
その他	10,487	4,352
特別損失合計	65,848	119,106
税金等調整前四半期純利益	1,096,826	1,357,825
法人税等	536,954	685,844
少数株主損益調整前四半期純利益	559,871	671,981
少数株主利益	37,878	10,745
四半期純利益	521,993	661,235

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	559,871	671,981
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△23,386	△30,999
繰延ヘッジ損益	38,470	13,699
為替換算調整勘定	△144,471	△23,929
その他の包括利益合計	△129,387	△41,229
四半期包括利益	430,483	630,752
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	392,605	620,006
少数株主に係る四半期包括利益	37,878	10,745



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 追加情報

① 「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

② 法人税率の変更等による影響

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.6%から、平成24年4月1日に開始する連結会計年度から平成26年4月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については38.0%に、平成27年4月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については35.6%となります。この税率変更により、繰延税金資産の金額（繰延税金負債の金額を控除した金額）は35,547千円減少し、法人税等は34,415千円増加しております。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	半導体設計事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,749,605	11,863,270	19,612,876	—	19,612,876
セグメント間の内部 売上高又は振替高	28,033	—	28,033	△28,033	—
計	7,777,639	11,863,270	19,640,910	△28,033	19,612,876
セグメント利益	930,511	439,369	1,369,881	△229,776	1,140,104

(注) 1. セグメント利益の調整額△229,776千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△230,070千円及び棚卸資産の調整額294千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	半導体設計事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,219,747	9,365,334	19,585,082	—	19,585,082
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16,285	—	16,285	△16,285	—
計	10,236,032	9,365,334	19,601,367	△16,285	19,585,082
セグメント利益	1,597,104	26,921	1,624,025	△297,818	1,326,207

(注) 1. セグメント利益の調整額△297,818千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△297,821千円及び棚卸資産の調整額3千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「半導体設計事業」セグメントにおいて、子会社の建物及び構築物等の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては114,753千円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年6月10日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却を行うことを決議し、次のとおり自己株式を消却いたしました。これにより、資本剰余金および自己株式がそれぞれ1,977,993千円減少しております。

- ① 消却した株式の種類 普通株式
- ② 消却した株式の数 5,000,000株（消却前の発行済株式総数に対する割合 21.5%）
- ③ 消却実施日 平成23年6月30日

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。